



知名町長
今井 力夫

ともに創る！ 潤いと活力あるまち

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、平成31年の新春を晴れ晴れしい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は町政に対し、格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

歴史と伝統のある知名町の第9代町長に就任させていただき早1年が経過しました。この間、町民の皆様には、町政の運営に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。今後とも初心忘れることなく町政運営に努めていく覚悟でございますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

私の目指すまちづくりは「町民が主役 子や孫に誇れる 潤いと活力ある町」をスローガンに掲げており

ます。昨年は各校区において「町民と語る会」や各種団体の代表者の皆さんと「まちづくり町民会議」において当面する課題について意見交換会することができましたことをお礼申し上げます。

昨年度は日本をはじめ世界中で地震、水害、台風による自然災害が多発した年でありました。本町においても台風24号・25号による災害の爪痕が今なお残っており、国や県と協議しながら早急な支援を進め、一日も早い復旧を図って参ります。

知名町には、大山森林、ディーブルの海、昇竜洞、田皆岬のカルスト地形などの豊かな自然、さらには連綿と受け継がれてきた伝統文化などの魅力ある地域資源、また、多くの町民の皆様が、豊富な知識と経験を生かし様々な分野で熱心に諸活動に取り組まれております。これらの「地域力」（自然環境的資源と人的資源）を効果的に活用し、町民の幸せの実現、将来の知名町の基礎を築き上げていくことは、私に課せられた責務であると思っております。

さて、日本をはじめ先進国においては少子高齢化、人口減少社会が急速に進展し、経済や地域活性化に問題が生じてきております。地方自治

体においては、より一層の創意と工夫を凝らした町政運営が必要であり、限られた財源の中で住民サービスを持続可能な形で維持しながら、地域の特性を最大限に活かしたまちづくりに積極的に取り組んでいくことが求められております。

そこで、人口減少の背景にある少子化社会を見据え、「子育て支援金条例」「知名放課後児童クラブ」を創設し、若者が安心して子育てできる住みやすい町づくりを推進するとともに、高齢者や障がいのある方が「安心して暮らせる町」の実現を目指して取り組んでいるところでございます。

また、本町の役場庁舎建設、水道水の硬度低減化は早急に取り組まなければならぬ課題のひとつである「町民と語る会」や議会でも取り上げられました。役場庁舎は日常の業務を遂行するだけでなく災害時の拠点施設としての機能を確保しなければなりません。国においても災害に強い庁舎建設は、災害に強いまちづくりの核と位置づけ、平成32年まで「市町村役場機能緊急保全事業」として庁舎建設を推進しております。その様な意味からも新庁舎建設について、本年度は積極的に町民

の皆様のご意見を拝聴しながら進めて参りたいと考えております。

昨年末に、本年度で期限切れとなる奄美群島振興開発関係法案の延長が閣議決定されました。非公共事業分野において、奄美群島の特性に応じた産業の振興や生活の利便性向上に資する事業や挑戦的な取り組みを支援する「特定重点配分対象事業」が位置づけられました。知名町でも積極的に個性のある独自の政策を立て、農業、水産業、商工業等の地域の活性化を推進していかねればなりません。

これからも、知名町が未来に向かって大きく飛躍できるよう、時代の変化を的確に捉えながら、未来に責任を果たせる町政運営を旨とし、これまでの取組を加速・発展させ「町民が主役 子や孫に誇れる 潤いと活力ある町」の実現に全力を挙げて町政運営に邁進してまいりますので、町民の皆様には引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、輝かしい新年が町ならびに町民の皆様にとって、夢と希望に満ちた素晴らしい一年となることをご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。